

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

文化通心

2014

冬

12月1日発行(季刊)



花の一生に人生をなぞらえて

落ちた大地にたくましく根付き成長する新芽が、紅く色づき開花を待つ蕾の時期を経て、短い時間を誇らしく咲く満開のひとときを過ごして、そして、惜しげもなく散っていく。無にかえりながらまた新しい世界への芽吹きを繰り返す循環。まぶしい光の中に浮かぶ小さな花が人の世に倣った花の命を語りかけます。

空間アーティスト 天雲美幸の花語り
ちょっどこましのべとって
12月から2月までの茶華道・イベント情報
財団の活動報告とお知らせ

84

発行・公益財団法人中條文化振興財団
〒760-0017高松市番町2丁目1番12号
TEL. (087) 826-3355 FAX. (087) 826-2212

空間アーティスト

天雲美幸の花語



花語り第四章・余白（フォワイエビル）

幼児体験が人生に影響するといわれますが、私の花とのかかわりも幼い頃から始まっていたように思いますと天雲美幸さんの話が始まりました。花の記憶は小学校の行き帰りに摘んでいた山野草が原点だとか。と言っても、四季折々の風景の中で野の花を摘む少女の姿は日本のあちこちでよく見られた光景。花への幼い思いが彼女の「花語り」につながっていった過程を探訪してみました。

「花語り」成立まで

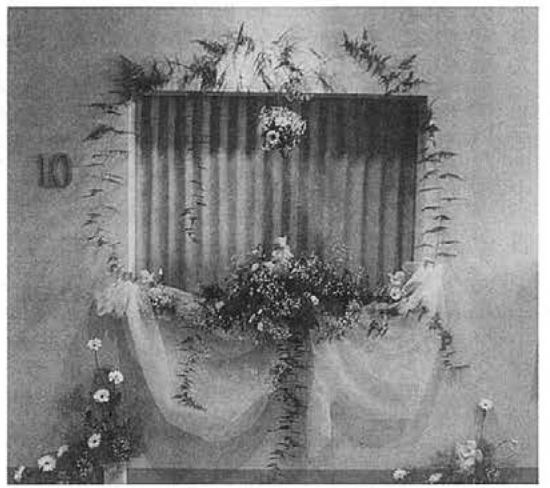
出雲街道交通の要衝として栄えた津山に育った天雲さんが高松で住むようになって、結婚までもなくフラワーアレンジメントに興味を持ち習い始めたことにお花の原点ですねと相槌を打ちましたところ、いえいえ、学校の行き帰りに摘んだ花を教室に飾ったり、家に帰って母にプレゼントしていたあの頃のお花が私の原点ですと訂正が入りました。子供たちのあどけなも残酷な仲間はすれにあった学齢期を、ごく自然に、野に咲く小さな花の世界に包まれて過ごした思い出は、花に逃げ込むようなものではなく、もっと明るく、きつと幸せなものだったろうと思いますと力調も入りました。天雲さんの幼い思い出の中の花は作画的に置き換えた慰めや癒しではなく、自然な素直さで見つけた花への思いがあつたようです。彼女の花のおおらかな印象は案外この原点の明るさ幸福感にあるのやも知れません。世界中からお花が輸入されるご時世にあつて、豪華な花材をふんだんに使つての大規模な花展の中にも、日本古来の侘びた枝や可憐な花で構成する作品は欠かせません、あの小さな名もない花を愛でる心は続いていますと言葉を結ばれました。

アレンジメントの型にはまらない自由な生け方や風に揺れるような優雅さが魅力で始めた趣味が、生徒さんを募つて教室を主宰するようになっていくのは、花屋を営むようになったことがきっかけになったと振り返られます。ご注文いたいた、プレゼント用の花束やブライダルブーケが好評で、作り方の教えを乞う生徒さんたちとの発表会・花語り第一回直後岡山蘭博から誘いを受けて出品した作品がフラワーアレンジ部門で金賞をいただいたことが、これからの道に一筋の明かりを灯してくれたよううれしかったとしみじみとした述懐もありました。

お花を生計の糧とした生活の中で始めた「生け込み」、これはイベント会場とか結婚式場の宴会場、スナックやバー、商店のウインドーなどに花材を持ち込んで花を生けて、雰囲気や華やかに品よく盛り上げ飾ることですが、大小にかかわらず力量発揮の場としてやりがいのある仕事ですが、毎度毎度の注文を受けられるほど営業力もなく、結局、経済的に安定したレッスンプログラムの道を選んだという思いが、自前の生け込み的な作品発表の花展回数が増えていく原動力になったのかも知れません。また、大きな転機もなかったようです。私のセンスに全幅の信頼を置いていた、だき二十年を超えて続くお客さまもあつたり、雇用が変つて新しい店長さんが縁のある業者を入れたくて無理難題を言われて困る場面もあり、商売とするつらさも経験しましたと内幕的な話も交じりました。

花に内なる思いを託して

平成八年の春、集まつて来てくれた生徒さんへのお返しにみんなの花展を開くことになり、自分の素直な気持ちの花を語りかけ、さりげなく個性を表現してゆきたい、それが私たちのテーマですという「花語り」第一章が高松市常磐町の常磐本館で開催されました。本格的な和風老舗旅館の大広間いっばいに桜が咲き、金屏風を背にして野山の蔓が枝を絡ませる間から洋花がのぞくという和の空間を彩つた躍動的な大作から、習い始めたばかりの生徒さんたちの可愛いガラスにあらつた作品まで五十点に及ぶ創作花がお迎えしたお客様たちから「伝統美あふれる会場にマッチして、まるで別世界にいるよう」と喜ばれ、本来は、学習成果発表の場へのありがたいうる来場者から、逆にいた、だいたいの言葉に戸惑いながらも、表現者冥利に尽きる思いをみんなに共有できたことが、次へのエネルギーに



ブライダル展示場

なりましたとも。更なるステップの原動力です。

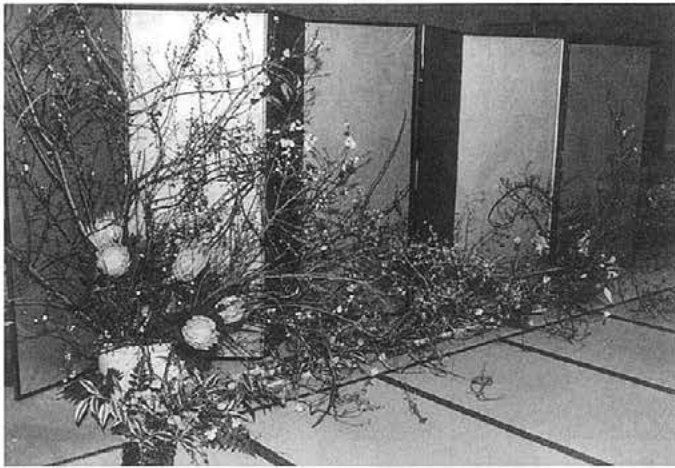
第二章は高松市浜ノ町弘憲寺のお堂の縁側、書院などに流木やガラス、金属などあらゆる素材を組み合わせた表現で、白い壁や襖、畳のスペースに色とりどりの感性の競演が繰り広げられました。かわいらしさと優雅さが同居と評した人があったのは、二十代から六十代までというお弟子さんたちの年齢層の広さによるものだったのでしょうか。この時大勢の人が来てくれて、日頃は静かな境内が賑わっていました。これもお花のおかげ、生徒さんたちの精進の賜物と天雲先生はいつも謙虚でした。

続いての第三章は高松市屋島西町の高松テルサが会場となり、受講生八十人の作品が和や南極（生徒さんの旦那さん）から任地先の南極の水が届いて、来場者に触ってもらって喜ばれていました。をテーマにして一、二階の会場を埋め尽くし階段にも作品が並び、さながらお花の遊歩道に見えました。建物と一体化した展

示の斬新さが見えました。

さらに第四章は高松市丸亀町再開発で取り壊し予定のフォワイエビル全館（二階のカフェなどテナント店の一部営業はありました）が提供され、つい最近まで最新流行の色や柄のファッション商品の並んでいた棚や壁に思い思いの作品が飾られ、お花だけでディスプレイしたお店みたいとフリーのお客様からも喜ばれました。

第一回制作発表会（常盤本館）

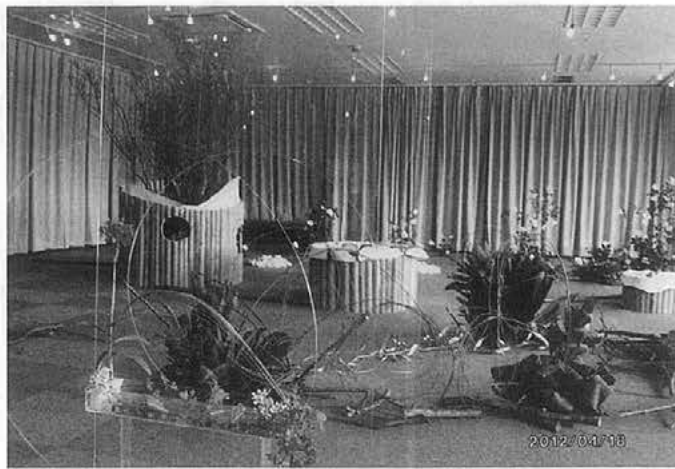


ブジェ、天井から吊下ろした布に描いた妖怪の絵に芸術空間の不思議な魅力と好評でした。

四季の循環を独創的に

生徒さんたちや他分野の芸術家たちとの共同した花展は楽しいのですが、今回は思いっきり私の花語を見てくださいますと平成二十四年春に高松市庵治町にある歯ART美術館で、空間アーティスト天雲美幸の世界「添草華」と題した個展が開かれ、身近な草花に寄り添って暮らすとの思いを込めて、生花やアクリル板、紙など様々な素材を組み合わせて四季の循環を表現した独創的な作品が来場者を楽しませていると四国新聞に紹介されました。

添草華（歯ART美術館）



これからの「花語り」

場所や空間全体を作品として体験させる絵画や彫刻など現代美術の表現手法の一つであるインスタレーションのようなフラワーアレンジメントの世界、卓上に小さな野の花を一輪挿すような場面、人々の幸せを華やかに演出し、哀しみにやさしく寄り添う雰囲気。花の語りかける様々な表情に、私の思いを語りかけ創作の世界の厳しさを楽しむ日々を送っていききたい、お花は一生の友たちですと天雲さんの話が終わりました。来年五月には当財団の茶室や露地いっぱいに「花語り」第六章「満蒙」が繰り広げられます。どうぞ、ご期待ください。

今年遠征を迎えた天雲美幸さん。お祝いの世話人から真っ赤な王冠をプレゼントされてちょっと照れ気味でした。



ちよつといましのべとつて

久しぶりに電車に乗って目にした車内広告。「ちよつとこま」って、「しのべとつて」って。

なんのこっちゃ？ってよく見ると「携帯電話を電車内で使うのはやめましょう」というマナー広告でした。しかも筆文字。

方言って筆で書くってインパクトありますよねって話していると、そういえば方言を筆で書く先生が植松町にいらっしやいますよ。そんな情報を聞いて訪ねてみました。



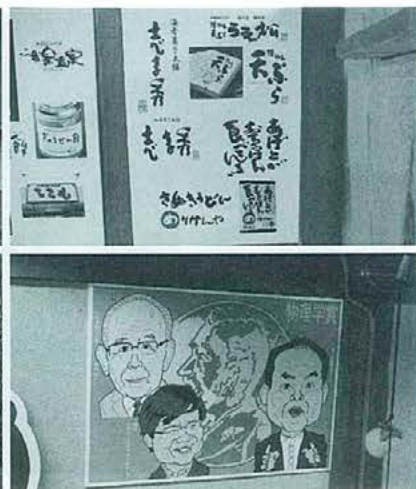
小高い丘に登って行くと駐車場から芸術していました。今回訪れたのは池田秋濤先生のアトリエ、その名もNAYANAYANA。真っ赤な納屋を改造したアトリエ兼ギャラリーです。2階に上がると見たことのあるポスターがありました。

いろいろお話を聞いてみました。なぜ讃岐弁ですかと聞いてみると、高校時代から書道を習い三十代後半までは県展や公募展に出展していたそうです。その頃東京で作品の説明をする時に標準語で伝えるのは難しいと感じたそうです。そして今まで書いてきた書で何かを伝えることは出来ていたのだからかと思い「本当の気持ちを伝えるんやったら、ほんまの言葉を書いたほうがええんちゃうやろか」と考え「生活の中の書」をテーマに個展中心の活動に切り替えたそうです。

その後、今回訪問した自宅農舎を改造したアトリエを拠点に活動を始めたそうで、地域の敬老会で名前とメッセージを入れた湯飲みをプレゼントしたり、幼稚園や保育園での砥部焼き絵付け指導などをしていくそうです。

そんな時に雲仙普賢岳火砕流災害が起こり「自分に出来る応援」は何かと考え千個のメッセージ入り湯飲みを持参し仮設住宅に住む被災者の方々に力づけたそうです。その後の阪神大震災、東日本大震災の時にも同様の活動で「心を伝える支援」を続けたそうです。

一枚の古瓦には「誰も見ていない、自分は観とる」そんな言葉が書かれていました。こんな瓦にでもこうして書けば伝わらん？そう言われて子供の頃、近所のおじちゃんやおばちゃんから「もう暗ろうなってきたで。早よ帰らな心配するで」とか「こら



財団行事予定

(十二月～二月)

十二月

◆懐石講座 三友居 山本勝先生

十二月二日(火) 午前十一時・午後三時

◆十二月月釜 五人様茶会

日時 十二月六日(土)

処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)

席主 濃茶席 裏千家 口入田宗美

英国紅茶席 細谷ひとみ

茶席 濃茶・紅茶・点心席

会費 五千円

入席時間(案内)各席二時間十五分を予定

第一席 A席・B席 九時

第二席 A席・B席 十時三十分

第三席 A席・B席 十一時十五分

第四席 A席・B席 十二時四十五分

第五席 A席・B席 十四時十五分

◆和菓子講座 高橋初乃先生

十二月十二日(金) 午前十時～十二時

月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

十二月十六日(火) 午前十時～午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)

毎月第二・第四土曜日

山下純子先生

十二月十三日(土)・二十七日(土) 午前十二時～

一月

◆初釜

平成二十七年乙未歳の初釜は、武者小路千家の高島守徹宗匠と西村妙純先生が釜を懸けてくださることになりました。

初心者の方、流派の異なる方も大歓迎。新しい年のはじめりを日本の伝統文化でお祝いしてみませんか。

好例の福引もありますのでお楽しみに。

栗きんとんとモンブラン

おせち料理でスイーツといえば栗きんとんですが栗のスイーツといえばモンブラン。同じように栗を使っているのに洋栗、和栗の違いはあっても全然違いますよね。

栗きんとんの作り方を調べてみると今は薩摩芋の餡を作りそれを栗にまとわせるのが定番ですが、元々は栗餡を丸めた和菓子のようなものだったらしいです。

きんとん（金団）とはもともと金色の布団や団子という意味で、お正月のには最適のおめでたい色なんでしょうね。その色を鮮やかにするためにクチナシを加えるのが定番だそうです。

一方のモンブランは仏語でモン・ブラン・オ・マロンと言うように栗にホイップクリームを混ぜて螺旋状に盛り上げアルプス山脈の名峰モンブランに似せて作られたスイーツで、本来は雪に見立てた粉砂糖を振りかけていたそうですが、最近は写真のように栗を乗せていることが多いですね。安価に提供するために薩摩芋の餡で作られている商品もあるみたいです。

面白いのは最近両方ともに紫芋を使った商品が出てきたこと。洋の東西を問わず流行には敏感なんですね。



くにもの (16)

般若台・白犬の墓

高松市仏生山町の法然寺は、廃寺だった法然上人ゆかりの生福寺を再興という名目で、江戸時代初期に松平頼重によって建立されました。時を経た近年、創建当時より頼重悲願と言われていた五重塔も完成し、大名家の菩提寺は市井に親しまれていきます。境内の般若台には歴代藩主たちの墓がありますが、その中に「白犬之墓」があり、こんな言い伝えがあります。

九代頼恕の時代、江戸屋敷で逝去した奥方さまの、国許への霊柩の長旅に白犬がついてきました。備前の下津井からは波路、不憫に思った家来が船に乗せてやりましたところ、讃岐での埋葬を済ませての帰り道、大坂を目指す船が播磨沖に差しかった時、犬は悲しそうに一声鳴いて海中に身を投げ、跡もとどめず没してしまいました。

当時のご家老だった木村黙老の随筆集「聞く儘能記」に、藩邸の門前で生まれた野良犬を憐れんで可愛がった奥方さまに恩義の殉死をしたのだろう、あつぱれな義犬と紹介され、いつの頃から、般若台の賢正院倫姫さまのお墓に寄り添うように白犬の墓が建てられました。



！喧嘩しとんちやう。仲良うせんか」なんて言われてた事を思い出しました。

そんなお話をしている時に突然「ちよつと待つとて」と階下へ。

すぐに上がってきたその手には仕出し弁当の容器が。そして壁にかけて「捨てるつて言つてたんを貰つてきたんやけど、こうすれば気持ちえ伝える道具になるやろ」

突然の訪問に快く応じていただき、即興で作品を仕上げてくださった。

書で伝えたい。それを模索し続ける。そんな作者の情熱を感じました。

さらにアトリエの中には見たことのある書がたくさんありました。

伝える気持ちが企業にも理解されているんですね。

コトデンのポスターは先生の作品ではありませんが、同じ方言でも活字で書かれていたと話題にもならなかったかもしれせん。

伝えたいという気持ちは共通だったのでしようね。

併設されたギャラリーでは地元の似顔絵作家しゅん楽さんの個展が開催されていました。

今年のノーベル賞を受賞された方々の似顔絵もありました。

近年はギャラリーだけでなくアトリエ裏の農地も家庭菜園として解放しているそうです。

そして気の合う仲間たちとボランティア活動にはげみ、地域に密着した活動を楽しんでいるそうです。

心にしみる言葉、見に行ってください。

前号「文化通心83号」「キボリ工房・細谷隆治氏の仕事」の文中に誤りがありましたのでお詫びし訂正致します。

誤：横山豊介(牛の彫刻家として有名)

正：横山豊介(現在 日展参与、彫刻家)

日時 一月五日(月)

処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)

席主 濃茶席 武者小路千家 高島守徹

薄茶席 武者小路千家 西村妙純

茶席 濃茶・薄茶・点心席

会費 八千円

入席時間ご案内(各席十八名)

第一席 九時 第二席 九時五十分

第三席 十時四十分 第四席 十一時三十分

第五席 十二時二十分 第六席 十三時十分

第七席 十四時 第八席 十四時五十分

各席二時間三十分を予定

◆和菓子講座 高橋初乃先生

一月九日(金)午前十時〜十二時

◆月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

一月二十日(火)午前十時〜午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)

山下純子先生

一月十日(土)・二十四日(土)午前十一時〜

◆和菓子講座 高橋初乃先生

二月十三日(金)午前十時〜十二時

◆月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

二月十七日(火)午前十時〜午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)

山下純子先生

二月十四日(土)・二十八日(土)午前十一時〜

「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要ですが、お申し込み、お問合わせは、

当財団事務局まで(水曜日休館)

高松市番町二丁目 一十二

TEL (087) 8269・3355

茶 華 道 ガ イ ド

香川大学表千家流茶道部 ☎ (080)6380-7172

12/21 月釜 龍光塾 500円 9:30~14:00
1/16、17 初釜 龍光塾 2,000円 10:00~、12:30~
1/18 月釜 龍光塾 500円 9:30~14:00
2/15 月釜 龍光塾 500円 9:30~14:00

琴平月釜茶室 ☎ (0877)58-9551

12/6~7 琴平歳末助け合いチャリティー茶会
席主：金丸洋子
ことひら総合会館 200円 10:00~15:00

華道一正流 ☎ (087)831-4987

2/21~22 華道一正流 生け花展 サポートホール高松
市民ギャラリー 300円 9:00~16:30

茶道裏千家淡交会香川支部 ☎ (0877)58-9551

12/7 観音寺 歳末茶会 席主：観音寺教授会
働く婦人の家 500円 10:00~15:00
12/7 善琴 月釜 席主：安井宗善
樟蔭軒 500円 9:00~14:00
12/21 坂出 月釜 席主：平尾宗司社中
勤労福祉センター 500円 10:00~14:00
1/25 善琴 月釜 席主：豊泉会
樟蔭軒 500円 9:00~14:00
2/22 坂出 月釜 席主：横井宗桂
翠松閣 500円 10:00~14:00

茶道裏千家淡交会高松支部 ☎ (087)886-5668

12/14 年末チャリティー茶会 席主：青年部
天神会館 800円 9:00~15:00
12/21 由佐城 月釜 席主：森本宗恵
由佐城 前売400円・当日500円 9:30~14:00
2/1 裏千家淡交会 月釜 席主：田井宗隆
天神会館 前売600円・当日700円 9:00~15:00

茶道石州流琴会 ☎ (087)888-5311

1/18 第61回日本伝統工芸展高松展 協賛茶会
席主：藤本美玉
香川県立ミュージアム 600円 9:30~15:30
2/1 節分茶会（点心付）席主：岸宗源
栗林公園内花園亭 3,000円 9:00~16:00

石州流讃岐清水派石州会 ☎ (087)898-6569

1/25 西徳寺月釜（東讃茶道懇話会）席主：野崎宗美
池戸西徳寺 500円 9:00~15:30

東讃茶道懇話会 ☎ (087)898-0391

1/25 月釜 席主：石州流 野崎みや子
池戸西徳寺 500円 9:00~15:30

武者小路千家香川官休会 ☎ (087)851-2258

1/25 香川官休会月釜 席主：竹井守恵
無量寿院 600円 9:00~15:00

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎ (087)879-0717

<由佐城月釜茶会> 第2研修室（和室）
前売400円・当日500円 9:30~14:00
12/21 席主：森本宗恵（裏千家 高畑宗裕社中）
2/15 席主：綾野宗悦（茶道石州流宗家高松会）

中條文化振興財団 ☎ (087)826-3355

12/6 12月月釜 五人様茶会 5,000円
席主 濃茶席 裏千家 口入田宗美
英国紅茶席 細谷ひとみ
1/5 初釜 8,000円
席主 濃茶席 武者小路千家 高島守徹
薄茶席 武者小路千家 西村妙純

以上の茶会はいずれも点心席を含みます。
詳細は、財団行事予定をご覧ください。

イ ベ ン ト ガ イ ド

とらまるバベットランド ☎ (0879)25-0055

12/13~22 冬の人形ワークショップ あったか素材を使った人形工
作や2015年の干支「ヒツジ」をモチーフにした新作が登場
ミュージアム 10:00~
12/20~23 とらまるクリスマスイベント クリスマスステージ
ミュージアム 11:40~、14:00~
1/2~4 とらまるお正月イベント 人形劇場とらまる座お正
月公演「なんにも仙人」・他 とらまる人形劇団
人形劇場とらまる座 13:30~

坂出市教育委員会文化振興課 ☎ (0877)44-5036

1/31 第8回レキブンコウ「白峯寺客殿で山岳寺院講座」
白峯寺 9:00~（事前申込要）
2/22 第9回レキブンコウ「殿様ランチを食す」
坂出市勤労福祉センター 9:00~（事前申込要）

坂出市建設経済部産業課にぎわい室 ☎ (0877)44-5015

12/21、1/18、2/15
悲運の帝 崇徳上皇の足跡を追う
坂出市観光案内所 9:30~
2/7~8 第25回坂出天狗まつり
松山小学校、JA香川県松山支店、相模坊、
白峯寺、林田運動公園 11:00~
8日：第21回坂出天狗マラソン大会
林田運動公園 9:00~

坂出市民ホール ☎ (0877)45-1505

12/14 第41回 坂出市市民芸術祭日本舞踊公演
11:00~
1/31、2/1 花き展示品評会 9:00~
2/14 崇徳上皇没後850年記念行事 13:00~

坂出市民美術館 ☎ (0877)45-7110

12/6~14 坂出市民美術展覧会 9:00~
1/10~18 収蔵品展 9:00~
1/10~18 あなたに届けたい「彼女たちの絵画展」
9:00~
1/23~25 坂出市保育所ブロック会「第44回幼児画展」
9:00~
1/31~2/1 生活文化展 9:00~
2/12~15 第36回毎日児童生徒書き初めコンクール
9:00~

鎌田共済会郷土博物館 ☎ (0877)46-2275

9/30~3/29「尾崎秀南が描いた郷土の風景」展
第3展示室 9:30~

かまどホール ☎ (0877)46-2178

11/8~30 漆芸 豊澤英之・大志郎親子展 10:00~
12/6~28 ぼた織今昔展 10:00~
1/31~2/22 紙彫刻 中村耕二の世界 10:00~

多度津町民会館 ☎ (0877)33-3330

12/14 葉加瀬太郎 Best Acoustic Tour “エトピリカ”
17:00~
2/14 劇団四季ミュージカル ふたりのロッテ
17:30~

丸亀市文化観光課 ☎ (0877)24-8822

12/7 2014まるがめ第九プレコンサート
本願寺塩屋別院 14:00~
12/14 2014まるがめ第九演奏会
丸亀市民会館大ホール 14:00~
12/21 平成26年度まるがめ文化芸術祭主催公演
丸亀市民吹奏楽団第41回定期演奏会
丸亀市民会館大ホール 14:00~
1/24~2/15 親善都市交流40周年記念
花嫁のれんー七尾と丸亀の婚礼ー
丸亀市立資料館 9:30~
2/22 平成26年度丸亀市若手芸術家支援事業
Strings Chamber Unit the Bistro W Concert
丸亀市緑歌総合文化会館7イレックス大ホール 14:00~

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎ (0877)24-7755

~1/18 企画展「猪熊弦一郎展 形がいっぱい」
10:00~（12/25~31休館）
~1/25 常設展「猪熊弦一郎展 純粋な芸術を求めて」
10:00~（12/25~31休館）
12/7、14 子ども〜大人向けワークショップ
「オモシロカタチのスタンプハンカチ」
7日小学生向け、14日中学生以上向け 10:00~
12/20、21 親子向けワークショップ
「貼って遊ぼうべたべた！クリスマス」10:00~
2/1~ 企画展「鈴木理策写真展（仮称）」10:00~
2/1~ 常設展「猪熊弦一郎展（タイトル未定）」10:00~

丸亀市緑歌総合文化会館（イレックス）☎ (0877)86-6800

12/2 情熱のフラメンコ 大ホール 19:00~
2/8 吉田正記念オーケストラ〜いつでも元気になる
コンサート〜 大ホール 14:00~
2/15 あやうた音楽祭・内容：地域の合唱団、音楽団体によ
るジョイントコンサート 大ホール 13:00~
2/22 丸亀市若手芸術家支援 西浦詩織ヴァイオリンコ
ンサート 大ホール 時間未定

丸亀市民会館 ☎ (0877)23-4141

12/12 宮川大輔×ケンゴコバヤシ トークライブ「あんぎゃー」
大ホール 19:00~
12/14 2014まるがめ第九演奏会 大ホール 14:00~
12/20 12月度 うたごえ喫茶 中ホール 10:00~
12/25 アンサンブルの輪 大ホール 10:00~（予定）
1/18 丸亀ドイツ兵俘虜楽団の足跡を辿る音楽フェスト
「ニューイヤークンサート」大ホール 14:00~
1/25 丸亀シティフィルハーモニックオーケストラ
第13回定期演奏会 大ホール 14:00~
2/8 新春 和の祭典 大ホール 10:00~

あーとらんどギャラリー ☎ (0877)24-0927

12/6~25 らんど・フェア 展 10:00~
1/8~25 暮らしの漆器 3人展 10:00~
2/1~22 金 明植 退官記念展 10:00~

灸まん美術館 ☎ (0877)75-3000

12/5~9 油絵二人「秋山静代+柳原り子」展
9:00~
12/12~16 Just Now 10人展 9:00~
12/19~23 第17回備前焼 勝賀瀬寛陶芸教室作品展
9:00~
1/1~6 讃岐の鬼師達の作品展 9:00~
1/9~13 第18回秋山一水 日本画・水墨画展
9:00~
1/16~20 トールペイント・木工展 9:00~
1/23~27 真鍋茂明展 9:00~
1/30~2/3 山本一則 写真俳句展 9:00~
2/6~11 油彩 5人展 9:00~
2/13~17 森光男 洋画展 9:00~
2/20~24 わやきば展 9:00~
2/27~3/3 あかね保育園・園児作品展 9:00~

イベントガイド

香川県立ミュージアム ☎ (087)822-0002

- ～12/24、1/21～2/15
アート・コレクション 香川ゆかりの作家たち
常設展示室4・5 9:00～●
- ～12/25
見て・知って・行ってみよう ふるさとの島
常設展示室1 9:00～●
- ～12/25、1/2～2/15
アート・コレクション 20世紀の美術
常設展示室2 9:00～●
- 1/2～18
第61回日本伝統工芸展 9:00～●
- 1/2～3/1
守る・攻める・城と館
常設展示室1 9:00～●
- 1/10
キッズワークショップ うるしにチャレンジ
研修室 9:30～、14:00～●
- 1/11
講演会「九谷焼のいま、釉裏金彩の美」
講師：吉田美統 ※講演後、展示会場にて
作品解説(要 観覧券) 講堂 13:30～●
- 1/17
ミュージアムワークショップ
はじめての金工 工作室 13:30～●
- 2/8
ミュージアムワークショップ
匠のわざ・金糸銀糸装飾刺繍
研修室 13:30～●
- 2/22
戦国の城館跡に動乱の郷土史を探る
研修室 13:30～●

アルファあなぶきホール ☎ (087)823-3131

- 12/9
ミュージカル「クリスマス・キャロル」
大ホール 19:00～●
- 1/24
秋川雅史・澤田恵美&メンバーによるクインテット
大ホール 14:00～●
- 1/31
牛田智大 ピアノ・リサイタル
小ホール 14:00～●
- 2/11
ジュニア・コーラス フェスティバル2015
大ホール 13:30～●

高松市美術館 ☎ (087)823-1711

- ～12/27 第4期常設展 常設展示室 9:30～●
- 1室：美のバザール・20世紀フランス美術と日本
2室：讃岐漆芸・始まりから現代まで
H27.1月～H28.3月(予定)まで改修工事のため休館

高松市歴史資料館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4520

- ～12/23 史跡・天然記念物屋島指定80周年記念企画展「屋島
シンボリックな大地に刻まれた歴史」9:00～●
- 2/7～3/22 収蔵品展「高松の商店街史展(仮称)」9:00～●

菊池寛記念館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4502

- 12/19 菊池寛塾「菊池寛の時代③」講師：大西良生
3階第1集客室 13:30～●(先着70人)
- <文芸講座>3階第1集客室 13:30～●(先着70人)
- 12/16 「泉呼と天照大神」講師：富川光雄
1/10 「文芸と聖書」講師：三谷 保
2/7 菊池寛祖先の系譜「菊池守拙と藩校講道館」
講師：田山泰三
3/7 「雑誌『動物文学』は戦時下で何をしたか」
講師：渡邊史郎

高松市中央図書館 ☎ (087)861-4501

- 12/21 「冬のおたのしみ会」内容：手遊び、
大型紙芝居、人形劇、朗読劇など
サンクリスタル高松(中央図書館)
3階視聴覚ホール 14:00～●

高松市生涯学習センター ☎ (087)811-6222

- 12/4 ブリザードフラワーで作るクリスマス飾り
実習室 13:30～(材料費要)
- 12/13 エコクラフトを編んでかごをつくろう
実習室 13:30～(材料費要)
- 1/21 らくらくピアノ 音楽室 10:00～●
- 1/23 ゆびで描く♪かんたんパステルアート
実習室 13:30～(材料費要)
- 2/8 ひな祭り折紙教室
実習室 13:00～(材料費要)
- 2/19 ブリザードのコサージュを作ろう！
実習室 13:30～(材料費要)

高松テルサ ☎ (087)844-3511

- 12/14 ヴァリエコンサート ホール 13:00～●
- 12/23 フィットネスラボ キッズ ダンス発表会
ホール 13:00～●
- 12/26 岡 昭宏 リサイタル ホール18:00～●
- 12/28 東京音楽大学校友会 香川県支部コンサート
ホール 9:00～●
- 1/11 第2回青い鳥コンペティション
ホール 9:00～●

- 1/18 四国ジュニアピアノコンクール受賞記念コンサート
ホール 9:00～●
- 2/7～8 ヤマハヤングピアニストコンサート
ホール 9:00～●

玉藻公園 ☎ (087)851-1521

- 12/1～1/31「まつぼっくりツリー」の展示 水門横
12/5～14 東京藝術大学所蔵作品展 披露閣
1/1～3 新年無料開放 園内
1/2 第4回新春書初め大会 披露閣
1/3 第7回高松城新春かるた大会 披露閣
2/7 菊作り講習会 披露閣

ミュージズホール ☎ (087)833-0013-0014

- 12/14 香川大学ギターアンサンブル部
定期演奏会 18:00～●
- 12/27 若き笛吹きたちコンサート 15:30～●

高松市文化芸術振興課 ☎ (087)839-2636

- <サンポートホール高松開館10周年記念事業>
12/13 ズーラシアフィルハーモニー管弦楽団
大ホール 14:00～●
- 2/8 西村雅彦withオーケストラ・アンサンブル
金沢弦楽四重奏団 ベートーヴェンと三人の女たち
大ホール 14:00～●
- 2/21、22 四国学院大学協賛事業 演劇どっこい「高松なう」
大ホール 14:00～●

<高松国分寺ホール>

- 12/28 畠山茂オペラ教室 13:30～●
- 1/12 陸上自衛隊第14音楽隊
ニューイヤークンサート 13:30～●
- 2/7 三遊亭笑斗ミュージカル落語独演会 13:30～●

高松市文化財課 ☎ (087)839-2660

- 12/1 柴野栗山208年祭 栗山記念館 9:00～●
- 1/1～3 玉藻公園 無料開放 玉藻公園 ●
- 1/2 高松城新春書初め大会
玉藻公園披露閣「蘇鉄の間」9:00～●
- 1/3 高松城新春かるた大会
玉藻公園披露閣「大書院」14:00～●
- 1/3 第36回水任流 新春初泳ぎ大会
大の場海岸 10:00～●

<探究！たかまつ通達 人・もの・場から高松の歴史と地域を考える>

- <後期>屋島の天然記念物
12/20 「屋島の植生と植物」
高松市中央図書館3階視聴覚ホール 10:00～●
- 1/10 「屋島の鳥類とミサゴ」
高松市中央図書館3階視聴覚ホール 10:00～●
- 1/31 「屋島における陸棲貝類の発見」
高松市中央図書館3階視聴覚ホール 10:00～●

<ふるさと探訪>

- 12/21 多肥周辺を訪ねる(予定) 9:30～●
- 1/25 香南町、中山城山の史跡を
訪ねる(予定) 9:30～●
- 2/22 前田地区の文化財を訪ねる(予定) 9:30～●

NHKふれあいギャラリー ☎ (087)825-0160

- 12/2～7 2014フォトさぬき写真展 9:30～●
- 12/9～14 第8回NHK漢字書道教室作品展
NHKカルチャー漢字書道教室 9:30～●
- 12/16～21 第58回(平成26年度)JA共済全国小中学生
書道コンクール 香川県予選入賞作品展示会
全国共済農業協同組合連合会香川県本部
(JA共済連香川) 9:30～●
- 1/6～11 香川支部と仲間たち展 日本折紙協会
香川支部おりがみKAGAWA 9:30～●
- 1/13～18 2015私達の写真展
フォトクラブ彩光 9:30～●
- 1/20～25 第14回楽しい絵手紙展 NHK文化セン
ター高松「楽しい絵手紙」9:30～●
- 1/27～2/1 第19回創祥会書道展
四国電力書道部 9:30～●
- 2/3～8 讃岐彫展示会 讃岐彫同好会 9:30～●
- 2/24～3/1 ありし日の昭和 昭和の風の会 9:30～●

高松三越 美術画廊 ☎ (087)825-0738

- 11/25～12/1 片岡球子と巨匠版画展 10:00～●
- 12/2～8 第52回現代工芸美術家協会四国会展 10:00～●
- 12/9～15 ロバート・ハインデル展 10:00～●
- 12/16～22 展覧 10:00～●
- 12/23～1/5 版画セールと迎春掛軸展 10:00～●
- 1/6～12 京焼・清水焼展 10:00～●
- 1/13～19 佐藤潤 絵画展 10:00～●
- 1/20～25 永井吐無 油絵展 10:00～●
- 1/27～2/2 巨匠絵画逸品展 10:00～●

- 2/3～9 近代現代陶芸秀作展 10:00～●
- 2/17～23 香川県美術家協会小品展 10:00～●
- 2/24～3/2 永吉秀司 日本画展 10:00～●

ギャラリーen ☎ (087)851-3711

- 12/4～12 長谷川まみ 金工展 ギャラリーen 10:00～●
- 12/8～13 てんてこ舞 小物フェア
杜のとなり 10:00～●
- 1/15～18 おひろめ展 や和らぎたかす 10:00～●
- 1/15～22 二嶋尋子 ノットینگ展
杜のとなり 10:00～●
- 2/5～12 寺沢京秀 市松人形展
ギャラリーen 10:00～●

まちのシュレ963 ☎ (087)800-7888

- 12/13～23 山本美文の部屋(木工家・山本美文の仕事を紹介
する展示会) ギャラリー 11:00～●
- 12/26～1/11 (仮)ことばく うるし展(漆器の展示会)
ギャラリー 11:00～●
- 1/31～2/11 いわてん(若手の作り手たちの良いモノ、おいしい
モノが並ぶ展示会) ギャラリー 11:00～●

珈琲倶楽部檉 ☎ 090-1579-2236

- 12/6～13 ベンヤマグチのクリスマス・とりいろ
とりどり 10:00～●
- 12/14 手づくりwork shop タイヒロコのべちゃ
んかぎ棒ハンドウォーマー 13:30～●
- 12/16～30 藤村英代と山口和馬のギフト展 10:00～●
- 1/12～25 タイヒロコの手袋・くつ下展 10:00～●
- 2/3～14 「手作り仲間 彩IRO展」グループ名：しろう
ま文化部 バック・ポーチ・アクセサリー・ガラ
ス織工・編物・織物等展示即売 10:00～●
- 2/15～28 ちょっとと素敵だけど手ばなしちゃう展
10:00～●

内町ギャラリー Tamamo ☎ (087)822-1037

- 12/2～7 さぬきおんなの手仕事展Vol.6 県内で活躍する女性作
家10組による漆、盆栽、フェルト、クラフト、組紐、
ガラスなど 企画：GALLERY komorebi 10:00～●
- 12/16～21 romantic Alamode 新作個展「ステン
レスワイヤーが織りなすレースのようなア
クセサリー」 11:00～●

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎ (087)879-0717

- <2F市民ギャラリー>
12/2～7 共催展「第15回 香南文化交流展」9:00～●
- 12/14～1/13 企画展「墨の美 三井飯山展」9:00～●
- 1/16～2/18 企画展「第14回 篆刻展」9:00～●
- 2/22～3/21 企画展「第14回 郷土文化拓本展」9:00～●

高松市塩江美術館 ☎ (087)893-1800

- 11/14～1/18 大木裕之展 現代子 9:00～●
- 1/25～3/8 HANNA+千葉尚美展(仮題) 9:00～●

高松市石の民俗資料館 ☎ (087)845-8484

- 11/29～12/7 共催展「師走展(前期)」
企画展示室 9:00～●
- 12/12～21 共催展「師走展(後期)」
企画展示室 9:00～●
- 12/20 森田学/バシリサイル〜愛の歌とお話でたどるイタリア〜
エントランスホール 18:30～●
- 1/10～2/15 企画展「第29回 思可亭展」
企画展示室 9:00～●
- 2/28～3/29 企画展「収蔵品展(仮)」
企画展示室 9:00～●
- 2/28～3/20 ホール展「開館20周年記念展示(仮)」
エントランスホール 9:00～●
- 12/12、1/9、2/13
古文書を読む会(8)～(10)江戸時代の和歌等を読み解いて
講師：加藤優(鎌田共済会郷土博物館・館長)
講座研修室 14:00～教材費要

土庄町文化協会 ☎ (0879)62-7013

- 1/18 第22回土庄町音楽フェスティバル
土庄町中央公民館 13:00～●

さぬき市志度音楽ホール ☎ (087)894-1000

- 12/21 志度音楽ホール少年少女合唱団
第22回定期演奏会 14:00～●
- 1/25 林家木久扇 一門会 14:00～●
- 2/8 New Artists Recital Vol.16 弦楽四重奏団
パシフィック・カルテット・ウィーン 14:00～●

■財団の活動報告とお知らせ

中條文化振興財団・文化活動奨励事業

去る十月一日(水)、平成二十六年財団賞授賞式及び助成金交付団体認定書授与式が当財団で行われました。

今年度は、財団賞に、中川克英氏(当財団理事田井靖二氏・香川の茶室を考える会推薦)と番屋御船唄保存会(東かがわ市教育委員会推薦)、助成金交付団体に、瀬戸内サーカスファクトリー、田井子供相撲保存会、立山信浩氏、てしまのまど、人形劇研究所 木偶塾が決定しており、岡市代表理事より賞状及び認定書が贈呈されました。

式典後の懇親会では、番屋御船唄保存会代表の田中晶二氏に「口伝え」で伝承されている御祝の唄を一節ご披露いただきました。正座をし、姿勢を正して唄う田中氏の唄声は、部屋中に響き渡り全員が感動して聞き入っておられました。



この御船唄が何十年先にも歌い継がれていくことを願いつつ、今後の皆様方の活躍を心よりお祈り申し上げます。

平成二十七年年度

助成金応募受付中

■対象事業

平成二十七年四月一日から平成二十八年三月三十一日までに実施予定の文化事業。詳しくは助成基準をご覧ください。

■応募の方法

財団所定の助成金交付申請書を提出してください。(HP参照)
応募締切は、平成二十七年一月末日。

■助成金

三十万円を限度とし、活動に応じた金額を審議委員会が決定致します。

審議委員会による書類審査を行い、必要があればプレゼンテーションを開催。
平成二十七年三月末までに結果をご連絡致します。

助成基準、所定の申請書等は、当財団ホームページよりご確認いただくか、事務局までお問合せ下さい。

中條文化振興財団

第一回あ・うんの数寄

ヤング茶会と讃岐もの開催決定

日時 平成二十七年三月二十二日(日)
会場 玉藻公園 被雲閣

讃岐香川の様々な文化を応援したいと発足した財団の活動もおかげさまで、二十年を越えました。長く親しんで頂いた「大茶会」は一段落して、しばらくお休みを頂きましたが、この度は新しい企画を考えました。

現在、香川県に認定された伝統的工芸士は、三十八品目、百十六人いらつしやいます。中には国の現代の名工に指定されている方もおられます。茶の湯もそうですが、将来に渡って消えて欲しくない文化だと思いますが、現実の環境はなかなか厳しい状況です。これを未来に続けていけるようにしたいというのが関係者の思いだと考えますが、引き継ぐ人が少ないのも現実です。

まずは知っていただくことが大事というところで、伝統的工芸士の皆さんの展示、解説、ワークショップと、高校、大学、各流派青年部等の若手茶人の皆様による茶席の開催というコラボ茶会を企画致しました。

詳細は次号の春号に発表致しますが、出来るだけ多くの若い人たちに、親しんでいただきたいて考えておりますので、趣旨をご理解いただいて多くの皆様にご協力を賜わりたくお願いいたします。

今後海外に出る子供達も増えると思いますが、まずは地元を知って、日本を知って、それぞれ自分のバックボーンが何処にあるのか、外国の方々に紹介出来る力が大事ですが、何を伝えるのかというのも大事なことだと思います。よろしくお願いします。

編集後記

先日、民話を語る活動をされている方のお話を聞く機会がありました。いわゆる語り部ではなくてボランティアで、依頼があれば出かけていくそうです。一番むつかしいのは、方言で語ることだとおっしゃる。

ご自分では、普通に使っている言葉で話しているつもりなのに、微妙に言い回しやイントネーションが「違う」と古老に直されるそうです。言葉の持つ雰囲気が出る上で、大切な要素になっているんですね。

どこの県でもそうでしょうが、話し方や言葉使いで、ある程度どこの地域の方が想像できるらしいです。方言もルーツを辿れば奥が深くおもしろい。お国訛りはすばらしいと思う。

「声・情報お寄せください」

〒760-0017 高松市番町二丁目一―二
公益財団法人中條文化振興財団編集部
TEL (087) 8266・3355
FAX (087) 8266・2212
info@chujo-zaidan.or.jp